

# マダニに注意しましょう

平成27年5月19日、重症熱性血小板減少症候群 (Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome: SFTS) の患者が県内で初めて確認されました。

SFTSの主な感染原因は、ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染するとされています。(すべてのマダニがこのウイルスを持っているわけではありません。また、このほかにも、マダニが媒介する感染症には、日本紅斑熱やライム病が知られています。)

マダニは春から秋にかけて活動が活発になりますので、以下のことを参考に、感染を予防しましょう。(これらの予防方法はツツガムシにより感染するつつが虫病の予防にも有効です。)

## 1. マダニの生息場所



マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。

マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。



## 3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。



屋外活動後は、シャワーや入浴で、タニが付いていないかチェックしましょう。



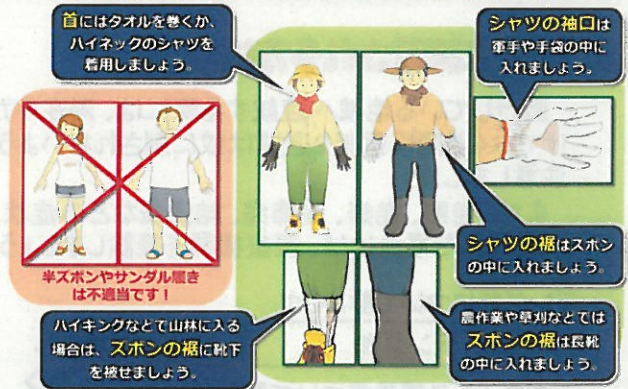
カムテープを使って服に付いたタニを取り除く方法も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間 (10日間以上) のこともある吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置 (マダニの除去や消毒など) を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

## 2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう!



## 4. 忌避剤の効果

海外ではマダニ対策に忌避剤 (虫よけ剤) が使用されていますが、日本には、マダニ用に市販されている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツカムシ (ダニ目ツツカムシ科) を忌避する用途で、衣服に塗布して使用する忌避剤 (医薬品) が複数市販されています。このような忌避剤を使用し、マダニに対して一定の忌避効果が得られることが確認されました。



ディート (忌避剤) の使用でマダニ付着数は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせる対策を取ってください。

出典 国立感染症研究所昆虫医科学部

詳細な情報は県ホームページをご覧ください。



福岡県 マダニ

検索